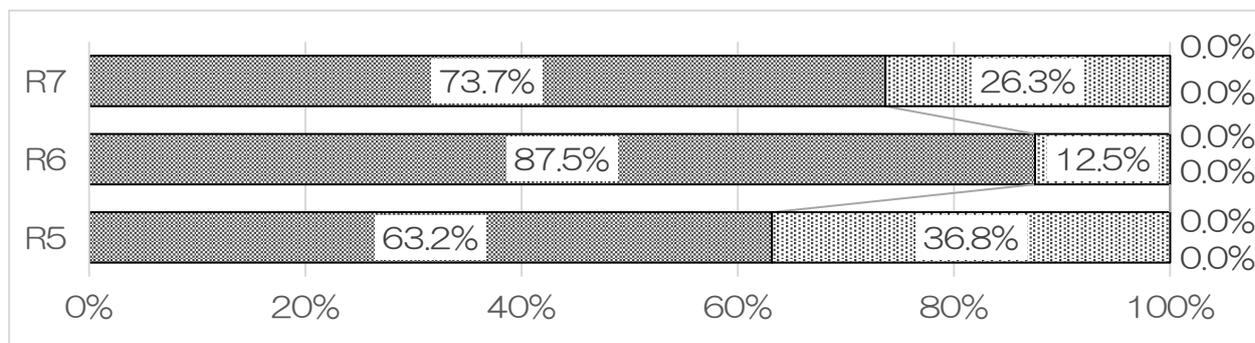


令和7年度 学校教育活動に係る成果と課題（学校評価より）

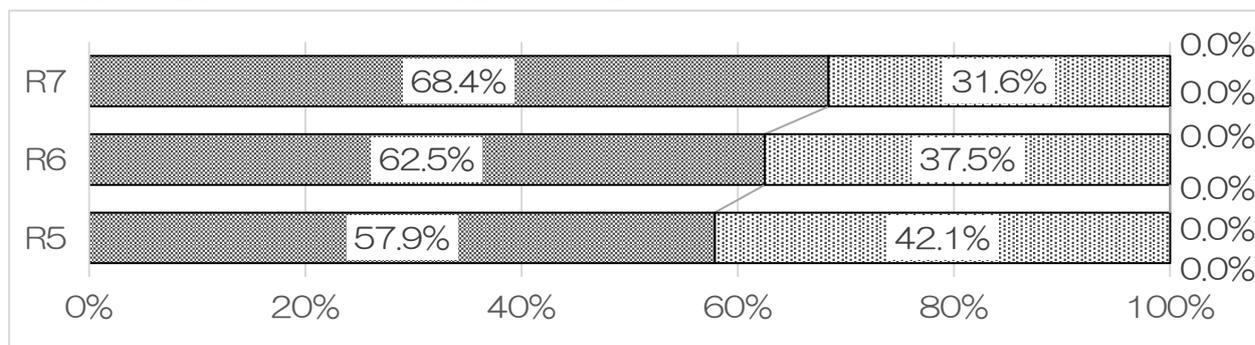
【教職員】 緑丘小学校 教育活動にかかわるアンケート



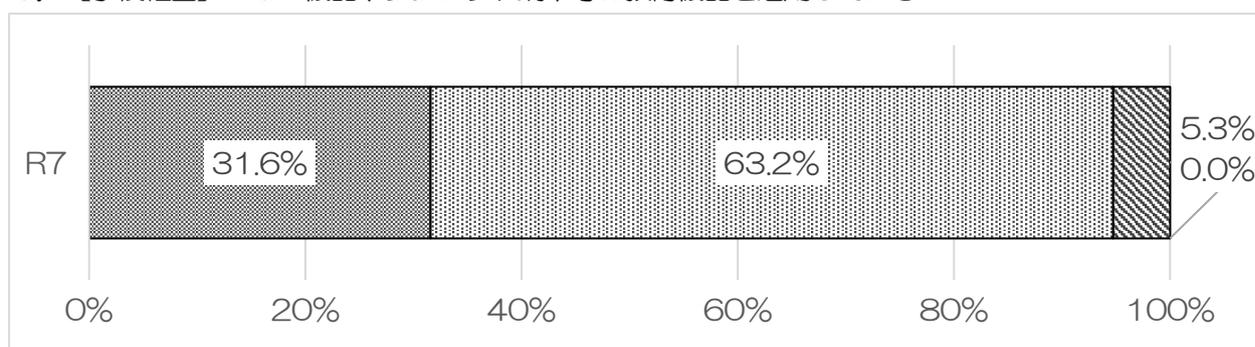
1. 【教育目標】 校訓「よく学び 心豊かに たくましく」を意識した、学校の教育目標は妥当である



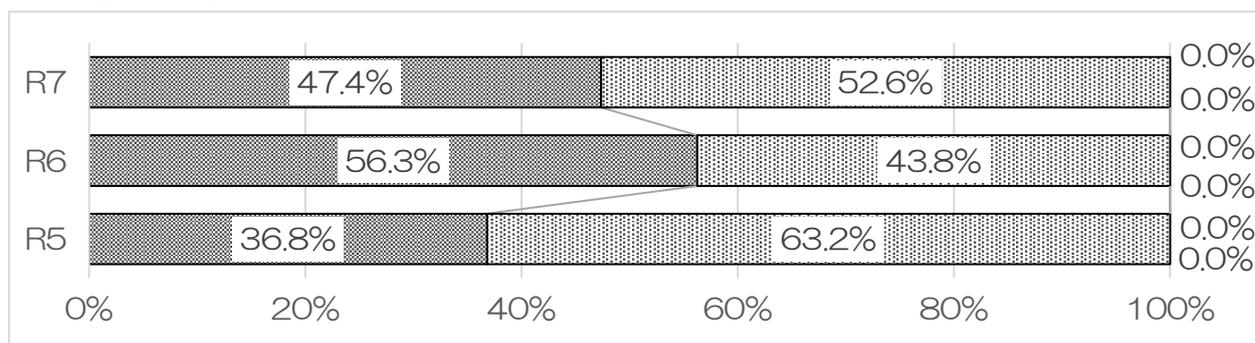
2. 【学校経営】 個を大切にされた教育活動に取り組んでいる



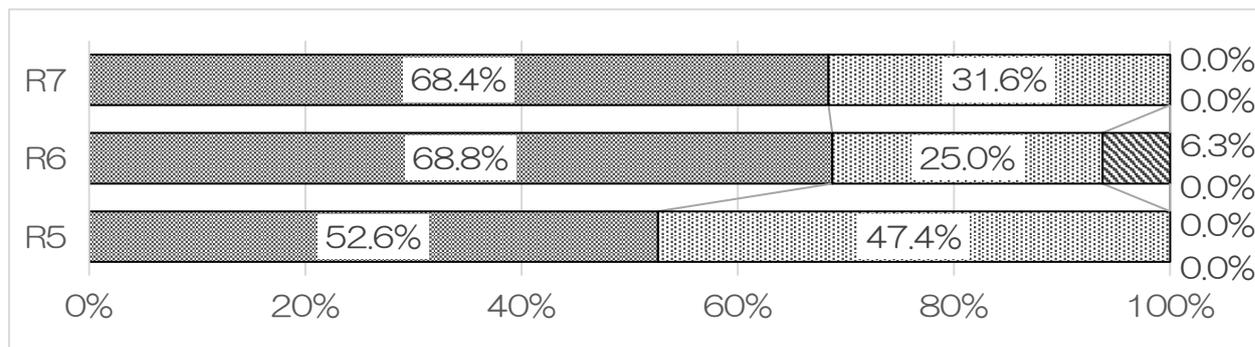
3. 【学校経営】 ICT機器やタブレット端末等の教育機器を活用している



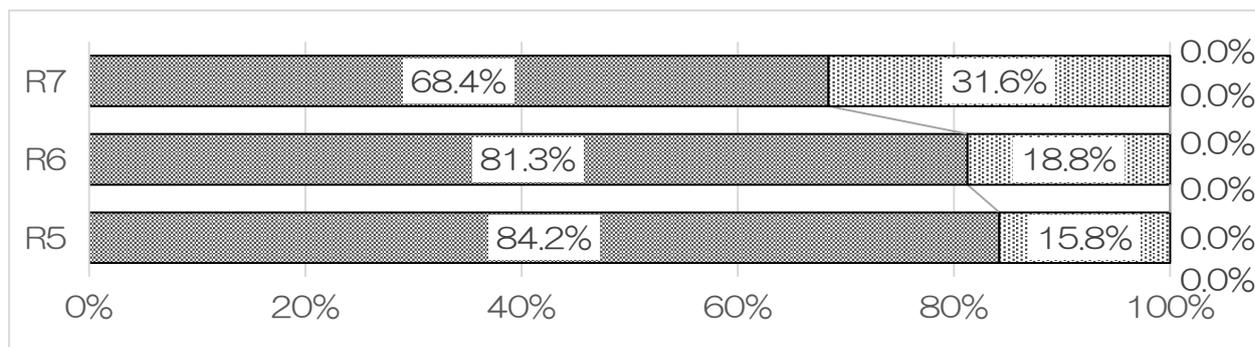
4. 【学校経営】 運動場、遊具、教室、体育館、廊下や階段、トイレ、手洗い場等や、掲示板などは整備されている



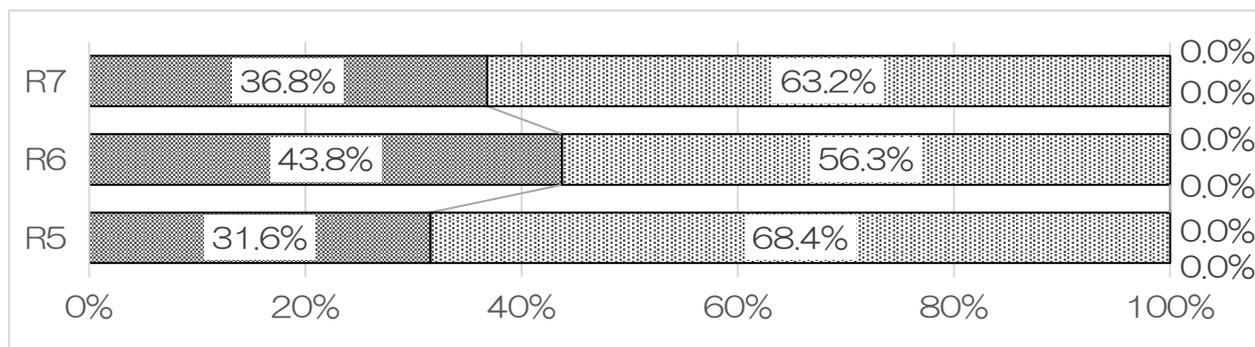
5. 【学校経営】 保護者参加型の活動や行事などが計画されている



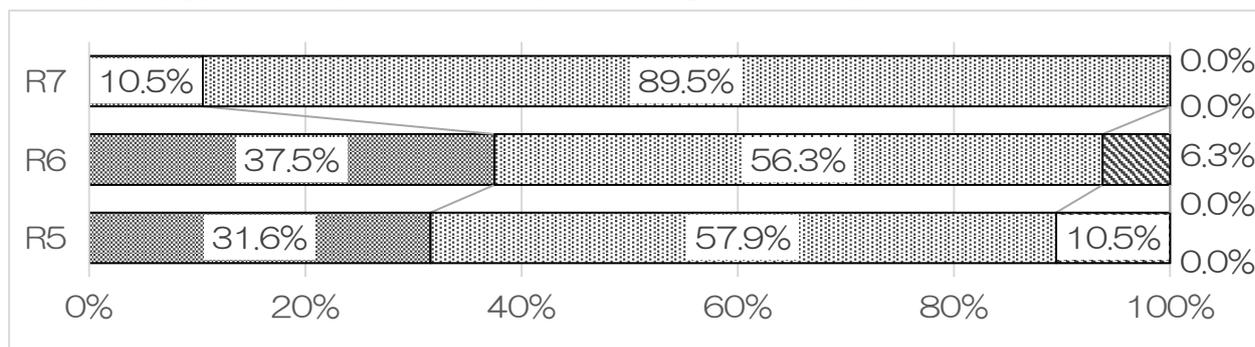
6. 【学校経営】 学校だより、学年だより、ホームページ等で、学校や子どもの様子が伝わっている



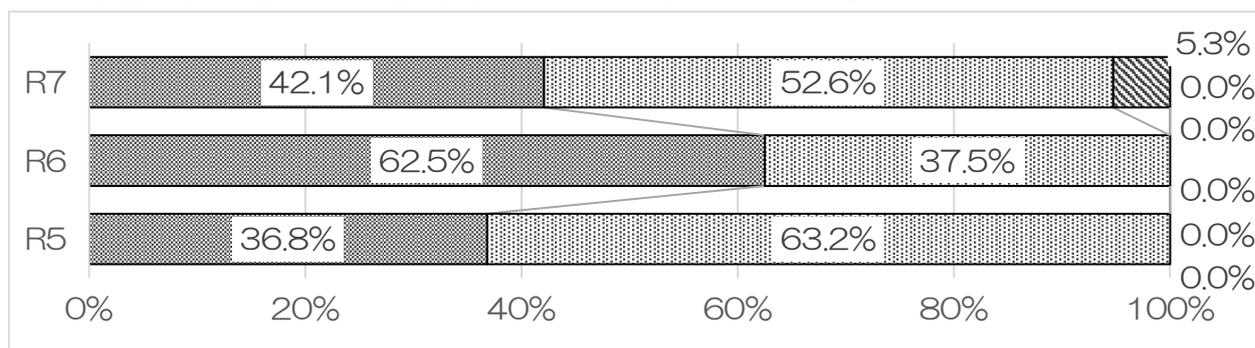
7. 【学校経営】 子どもたちは、明るく楽しい学校生活を送っている



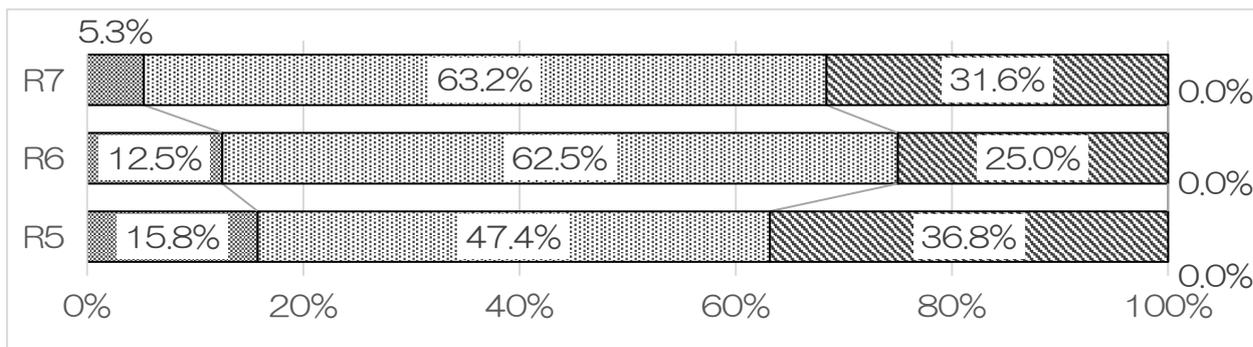
8. 【学習指導】 子どもたちは、授業や家庭での学習に意欲的に取り組んでいる



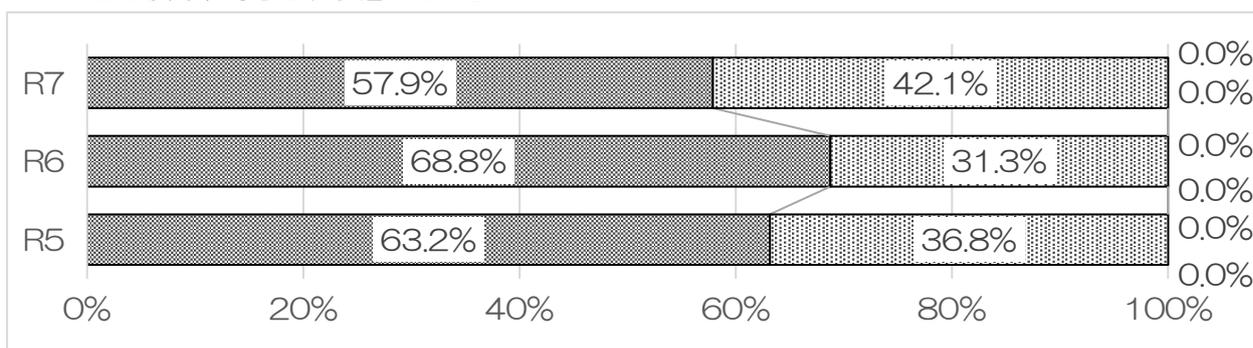
9. 【学習指導】 学習状況表や通知表は分かりやすいものになっている



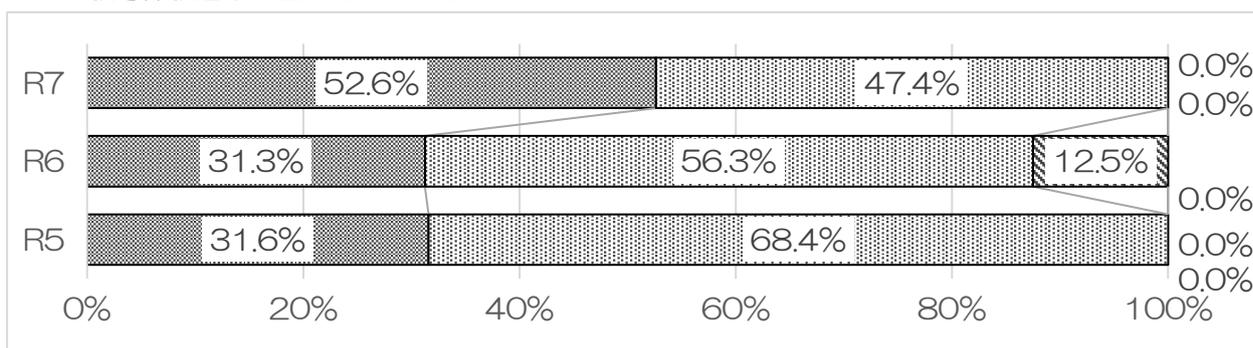
10. 【生徒指導】子どもたちは、挨拶、言葉遣い、身の回りの整頓などに取り組んでいる



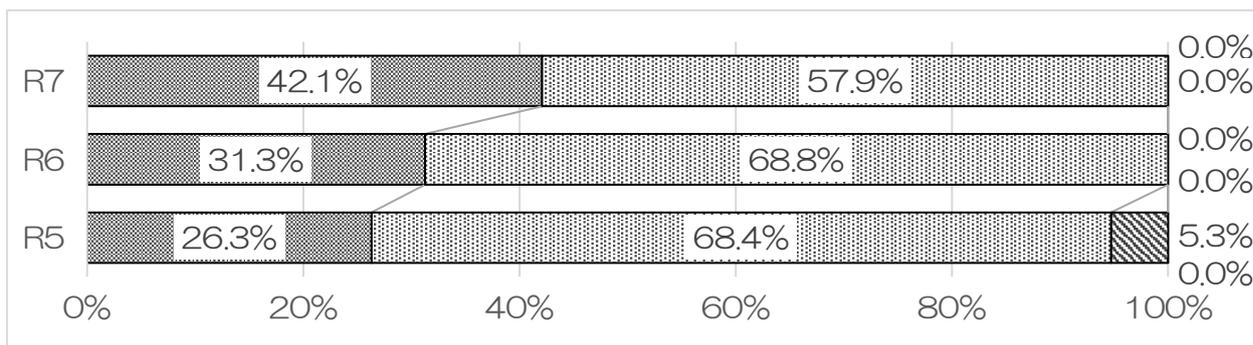
11. 【生徒指導】日頃から子どもと触れ合い、教育相談などで子どもの話をよく聞き、いじめ・不登校などの予防や対応に取り組んでいる



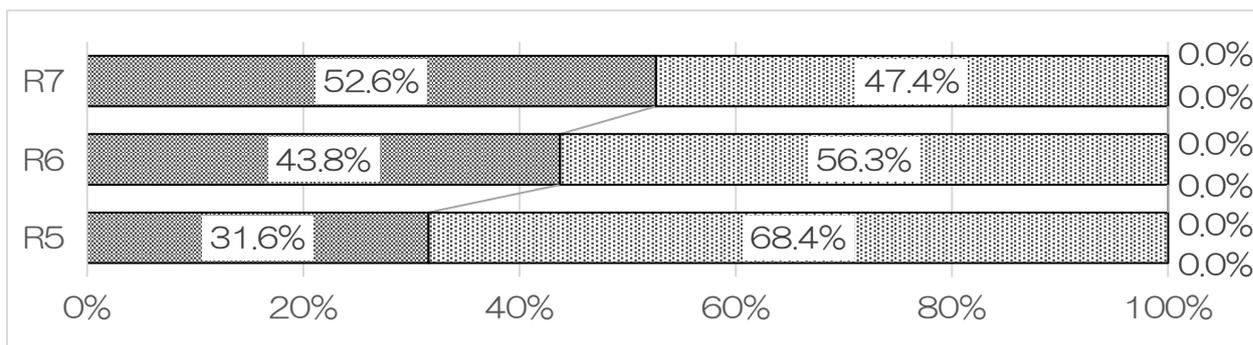
12. 【道徳教育】子どもの心に響く道徳の授業をしている、また、豊かな心を育む教育活動として自然体験等体験活動の工夫をしている



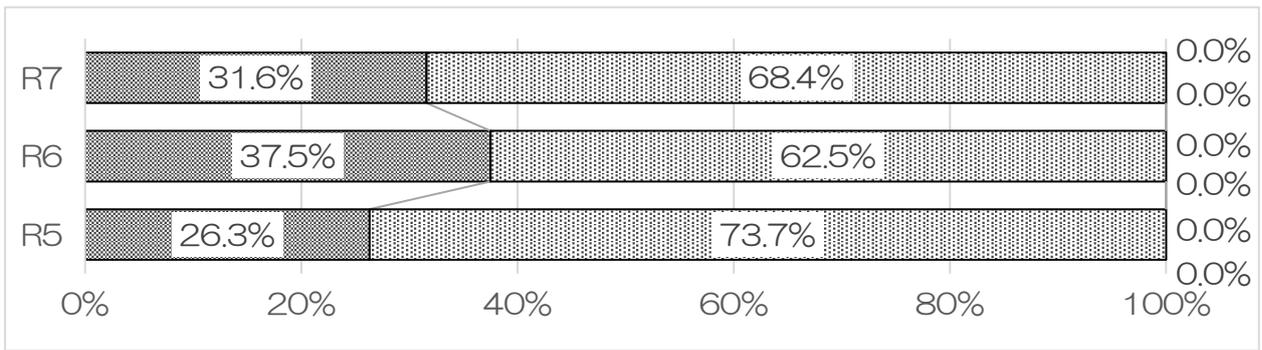
13. 【道徳教育】子どもたちは、友達となかよく生活している



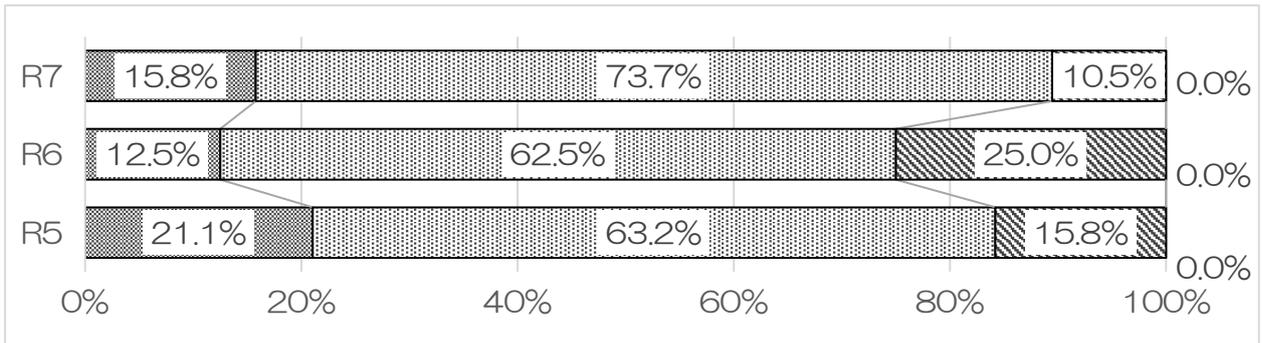
14. 【特別活動】学級活動、児童会活動、学校行事等において、子どもたちが生き生きと取り組んでいる



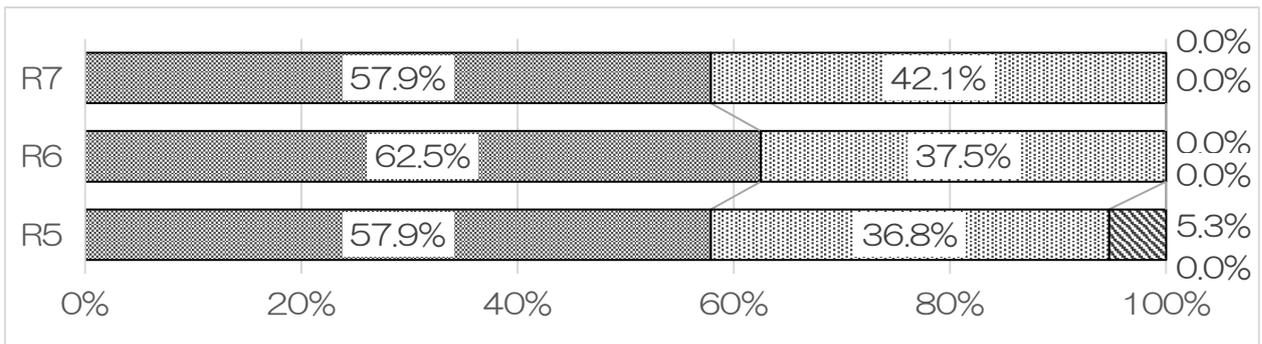
15. 【健康教育】運動を通じた体力づくり、保健学習、食に関する指導、性に関する指導、心（人間関係）に関する指導などに取り組んでいる



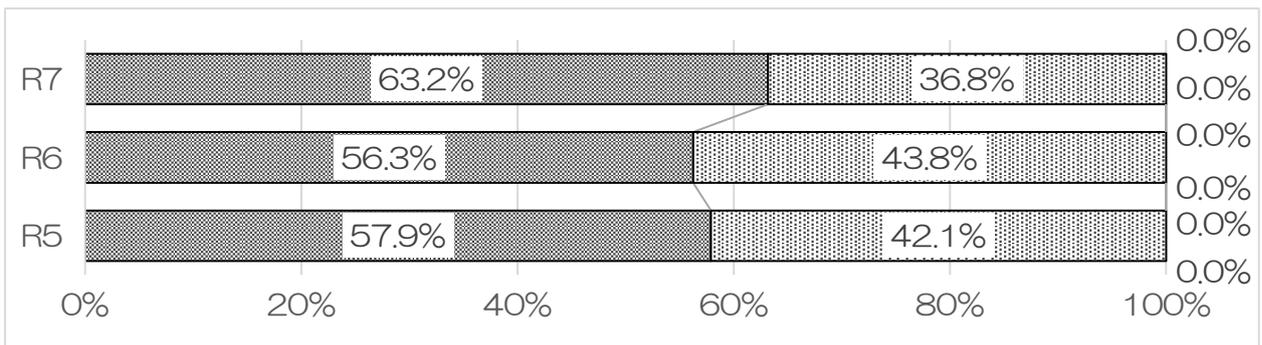
16. 【健康教育】子どもたちは、病気やけがをしないように気を付けて生活している



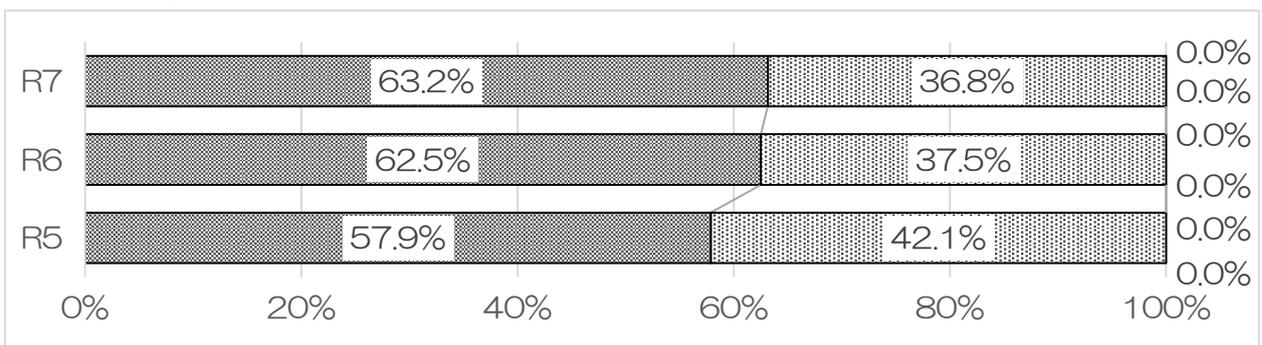
17. 【市共通】授業力・指導力向上のために、研鑽を積んでいる



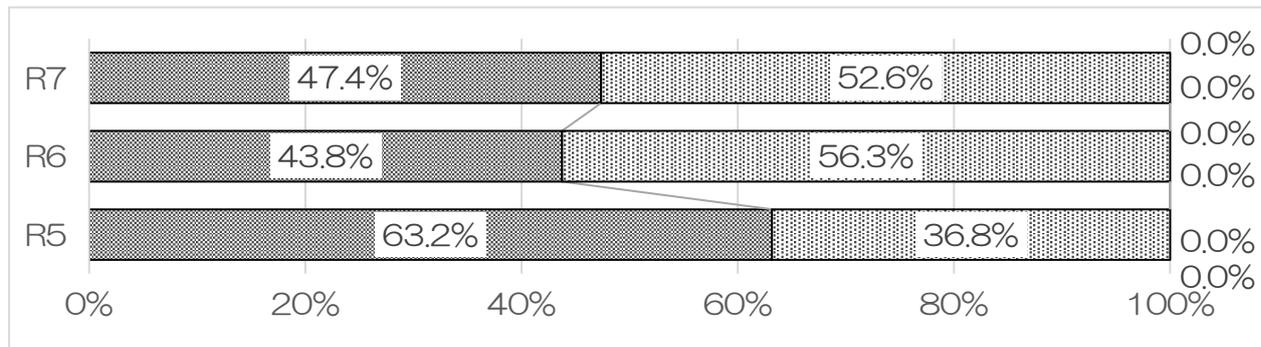
18. 【市共通】分かる授業、楽しい授業づくりに努めている



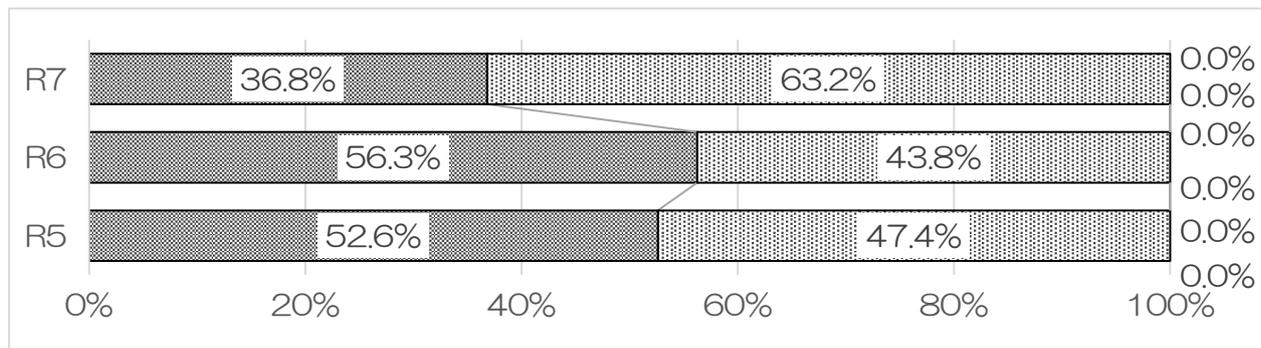
19. 【市共通】子ども理解に努め、子どもの居場所がある学級づくりに努めている



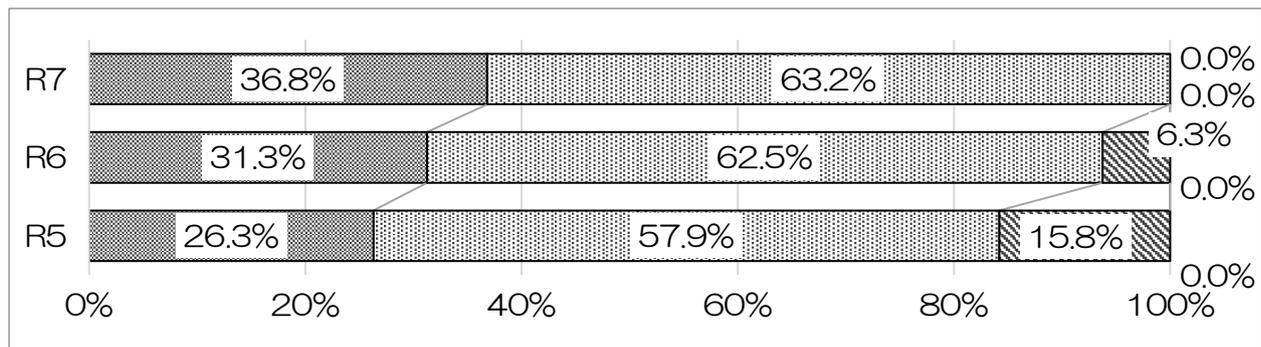
20. 【市共通】安全点検、安全指導に努めている



21. 【市共通】学校と家庭・地域との連携を深めている



22. 【市共通】校務支援システムの活用を図り、事務効率をあげている



<教職員アンケートの結果>

多くの項目で「よくあてはまる」が減少傾向であるが、「だいたいあてはまる」を含むと、多くの項目で「あてはまる」と回答されている。教職員が本校の教育目標を理解し、自信をもって教育活動に取り組んでいることが分かる。

1 [教育目標] については、「よくあてはまる」が13.8ポイント減少した。昨年度に続き、グランドデザインをもとに教育目標を達成しようと努力をしたが、学校生活や学校行事、地域との連携と、「特別の教科 道徳」を関わらせて学びを深めていく研究一年目であり、本年度は土台作りの段階と考えられる。2～7[学校経営]では、異学年交流により、子どもも教職員も一体になって学校生活に取り組んだことが伺える。また、行事、学校経営、授業づくり、子どもを語る会等多くの場面で、個を大切にした指導に取り組むことを意識した教員が増えたことが伺える。

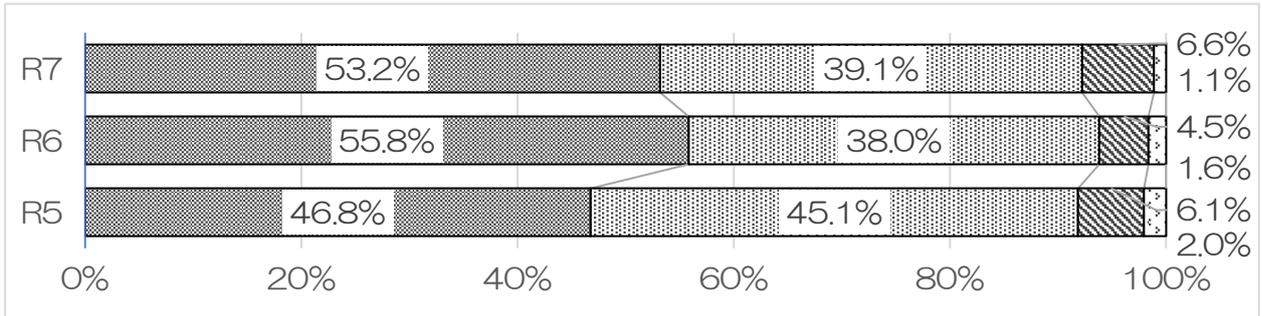
8・9 [学習指導] では、学習状況調査の配付回数や通知表の所見回数が減ったが、個別懇談会や通知表を渡すときの子どもへの声掛けを意識している。その反面、働き方改革も視野に入れ、子どもが提出した課題の評価の方法や、子どものがんばりやサポートの依頼を保護者にどのように伝えると分かりやすいのかを検討する余地があると感じていると考えられる。

12・13 [道徳教育]、14 [特別活動]、15・16 [健康教育] では、特に「13. 友達となかよく」が10.8ポイント、「14. 生き生きと取り組む」が8.8ポイント増加している。「特別の教科 道徳」に力を入れ、子どもたちが議論しながら道徳的価値を高めたことや、現職研修として地域の特色を生かした道徳教育にも取り組んだ結果、子どもたちの心が育ち、友達となかよく、生き生きと活動する姿が見られたと感じている。また、子どもたちの姿から、教職員も自信をもつことができたと考えられる。

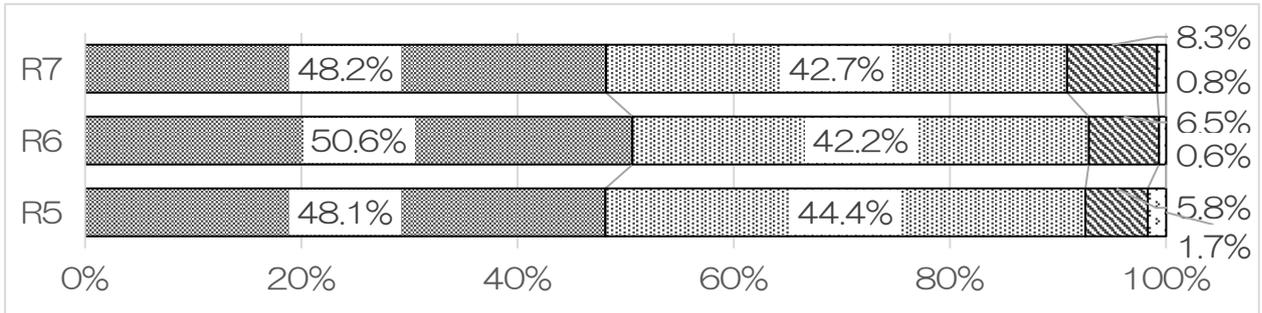
【児童】 学校生活をふりかえって



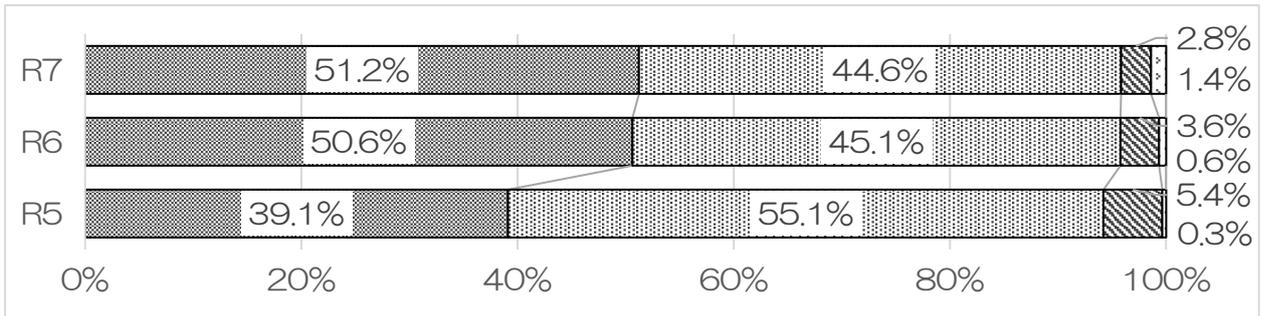
1. 学校は、楽しいですか



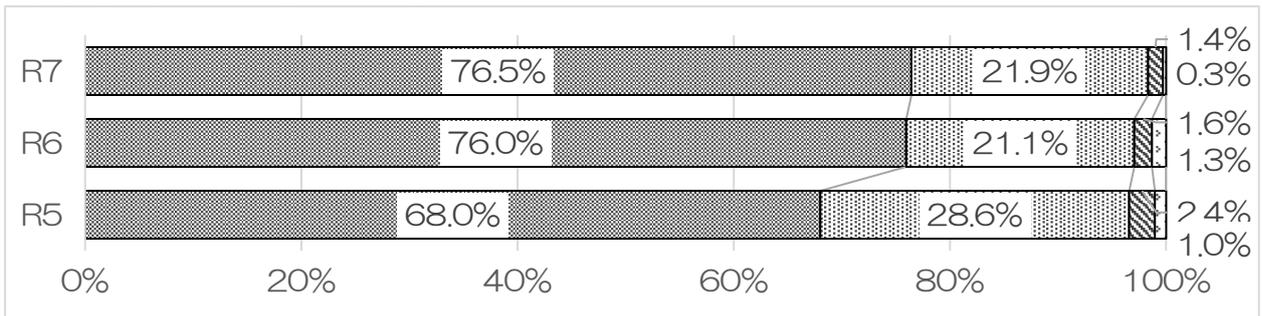
2. 授業はよく分かりますか



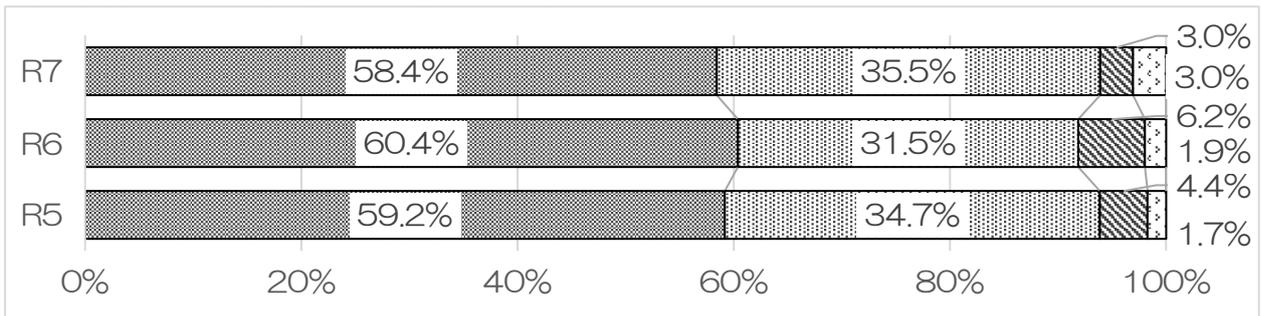
3. 時間を守ったり、決まりを守ったりして、生活していますか



4. 友達となかよく生活していますか



5. 病気や、けがに気を付けて生活していますか



<児童アンケートの結果>

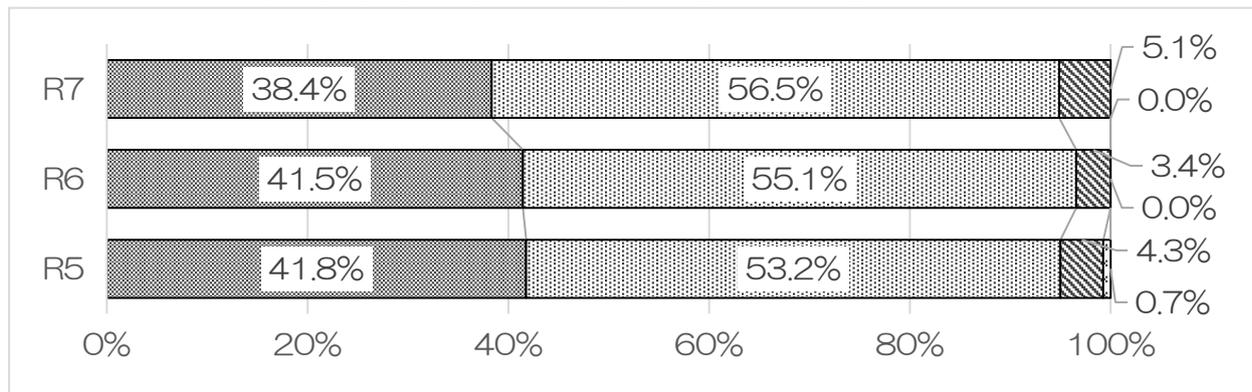
1 [学校は楽しいですか] については「あてはまる」92.3%、1.5ポイント減少、2 [授業はよく分かりますか] については90.9%、1.9ポイント減少した。2つの項目の「あてはまらない」7.7%、9.2%の子どもたちの「楽しくない」、「分からない」という要因について探り、全ての子どもにとって楽しい学校となるように努力していく必要がある。

3 [時間・きまりを守っていますか]、4 [友達となかよくしていますか] の2つの項目がわずかに改善した。これは、「特別の教科 道徳」に力を入れ、子どもたちが議論しながら道徳的価値を高めたことにより、子どもたちの心が育ち、友達となかよく、さまざまなことに前向きに活動する姿にあらわれたと感じている。また、昨年度に引き続き、授業や生活のきまりについて「みどりのいっぽ」という振り返りを活用し、自己評価を定期的に行ったことで、子どもたち自身が「よりよい生活を送れるようにしよう」という意識が高まったと考えられる。学び合いでは、友達を大切に、「分からない」を大切にするに加え、聞くことに力を入れたが、まだ改善の余地は大きくあるため、次年度も、子どもたちが自然に頭を寄せ合い、語り合う授業づくりをめざし、研鑽を積んでいく必要がある。

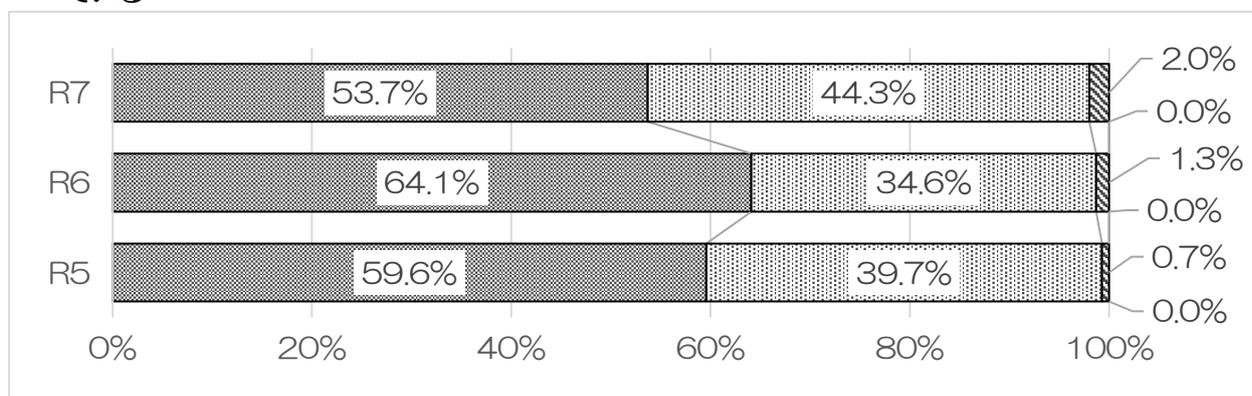
【保護者】緑丘小学校 教育活動にかかわるアンケート



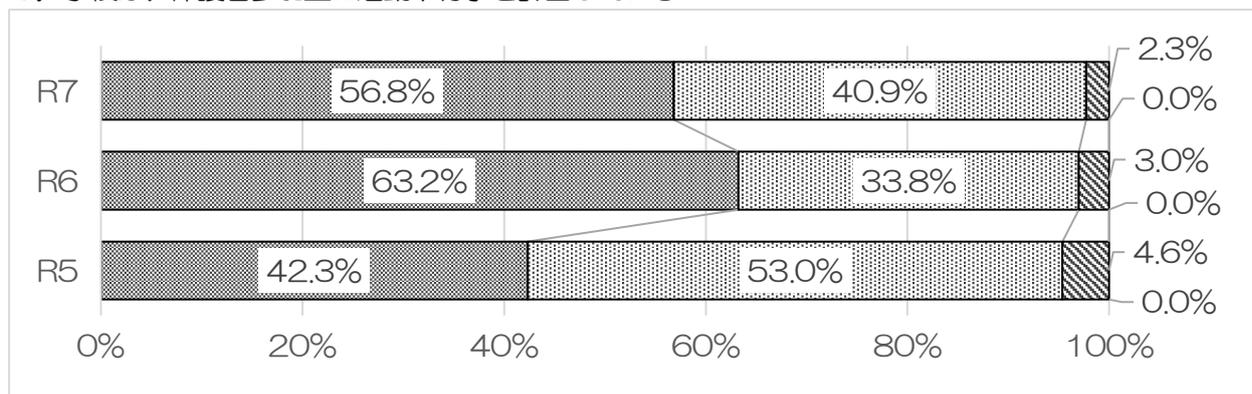
1. 学校は、豊かな心を育む教育活動や少人数指導、教育機器の活用等に取り組んでいる



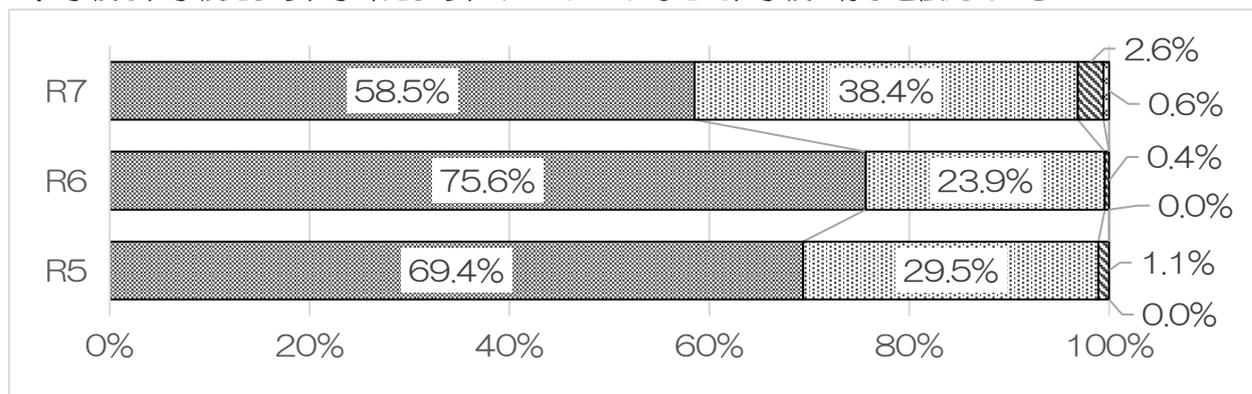
2. 学校の、運動場、遊具、教室、体育館、廊下や階段、トイレ、手洗い場等や、掲示板などは整備されている



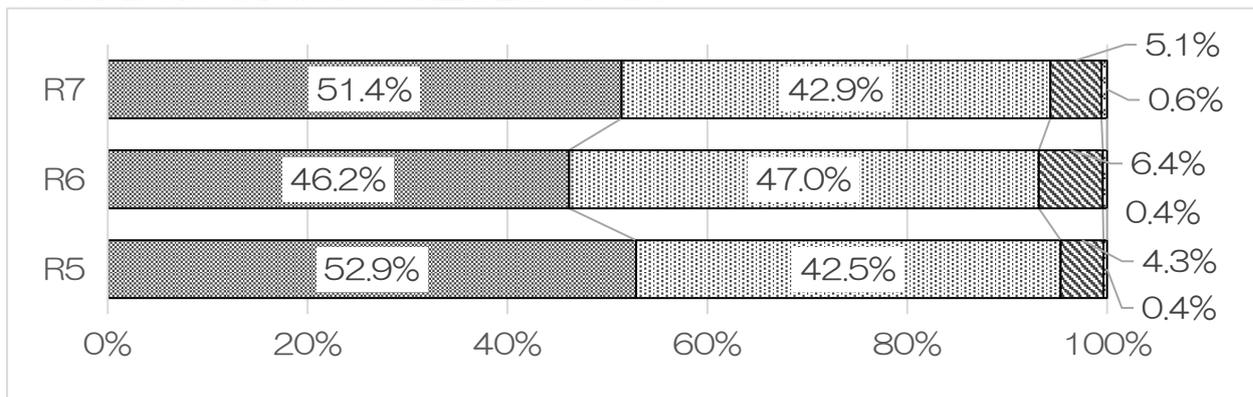
3. 学校は、保護者参加型の活動や行事を計画している



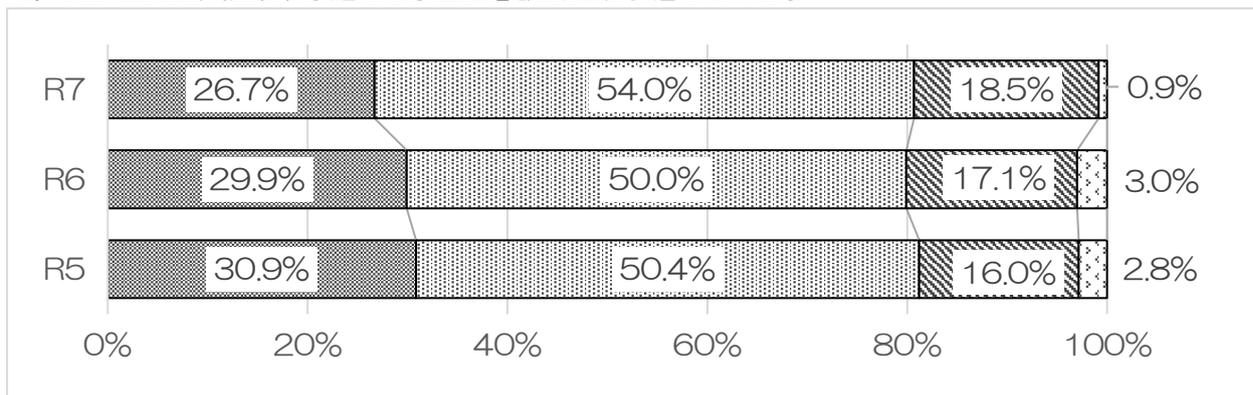
4. 学校は、学校だより、学年だより、ホームページなどで、学校の様子を伝えている



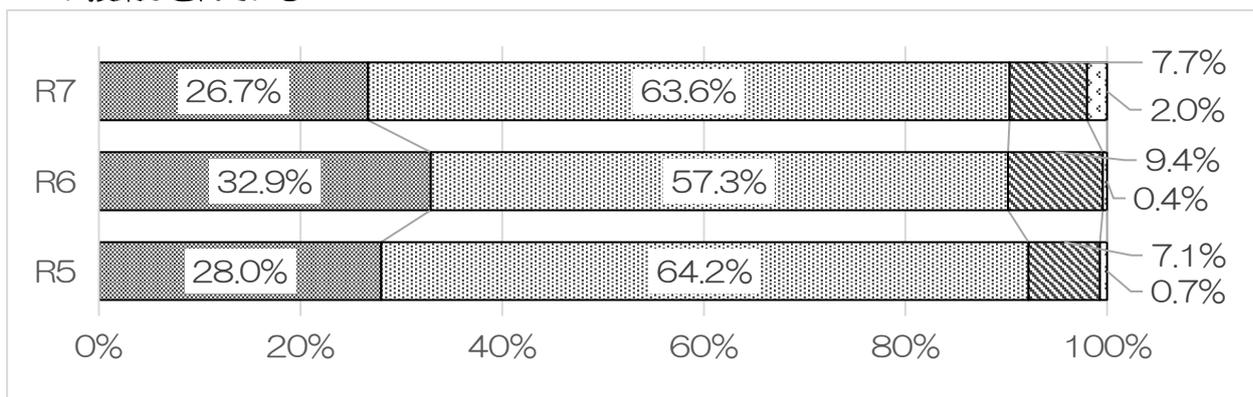
5. お子さんは、明るく楽しい学校生活を送っています



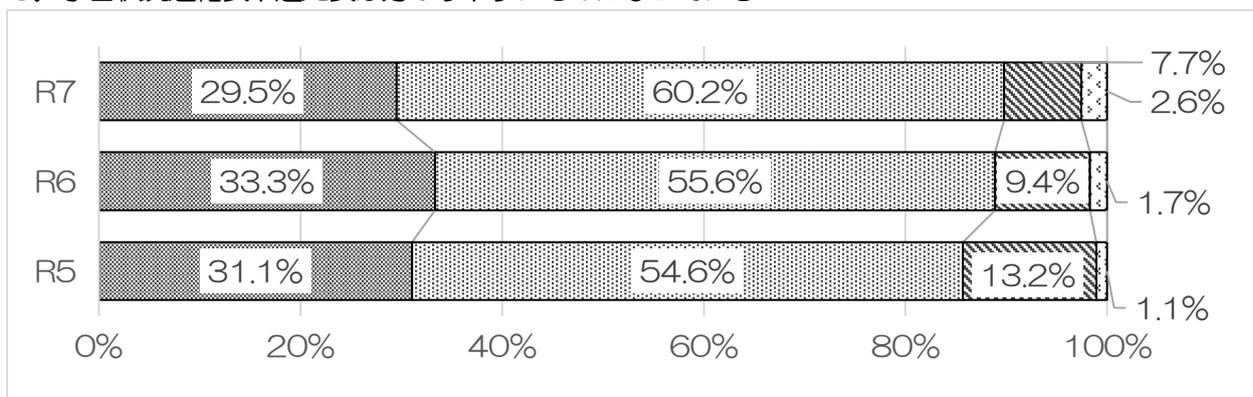
6. お子さんは、授業や家庭での学習に意欲的に取り組んでいます



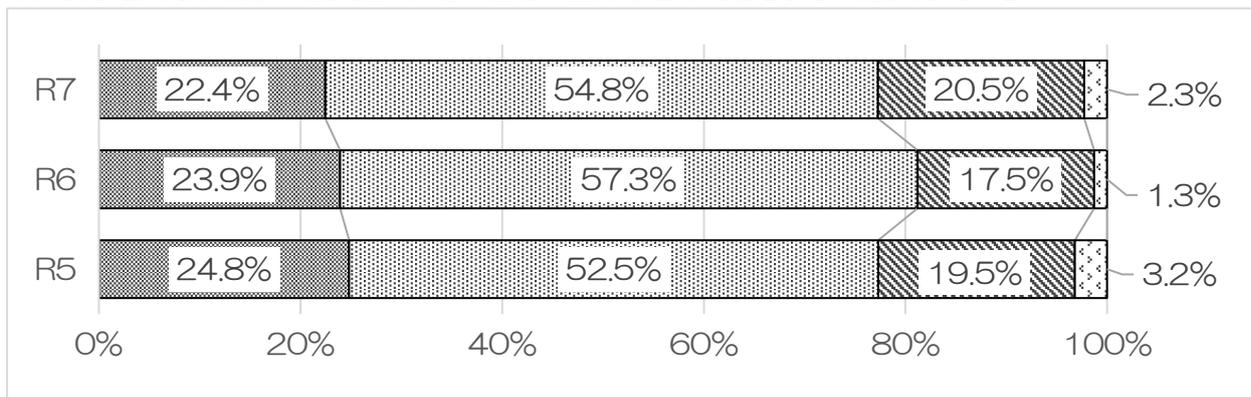
7. 学校は、基礎的・基本的な学力を身に付けられるよう、繰り返し学習などを取り入れた、分かりやすい授業がされている



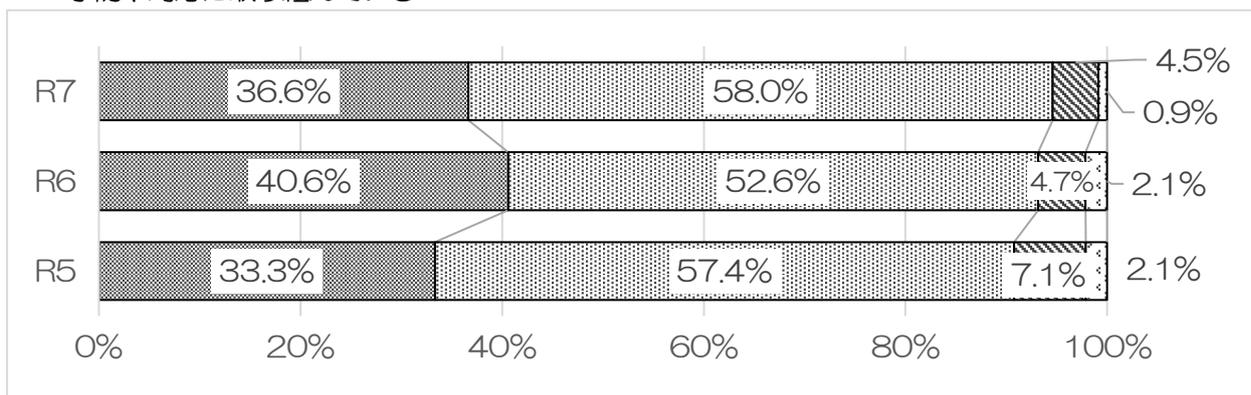
8. 学習状況連絡表や通知表は分かりやすいものになっている



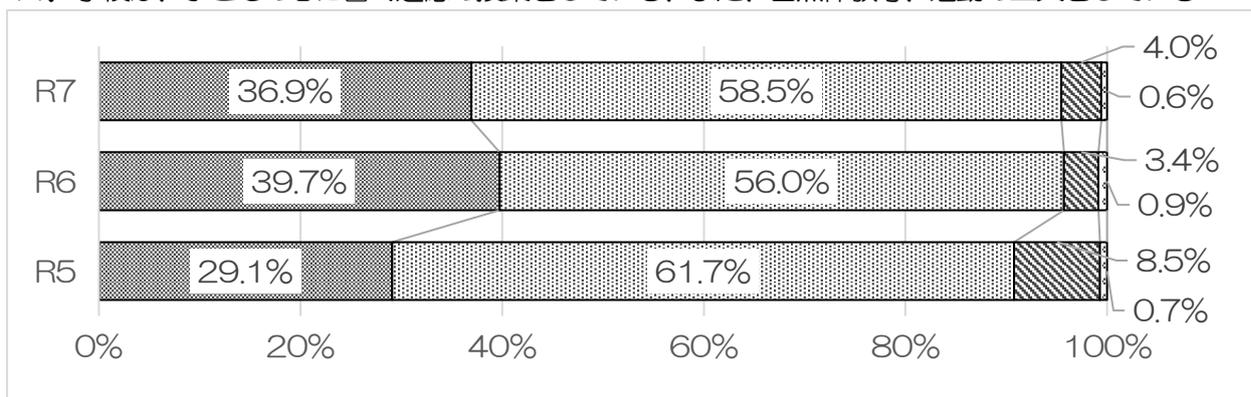
9. お子さんは、挨拶、言葉遣い、身の回りの整頓などができるように意識している



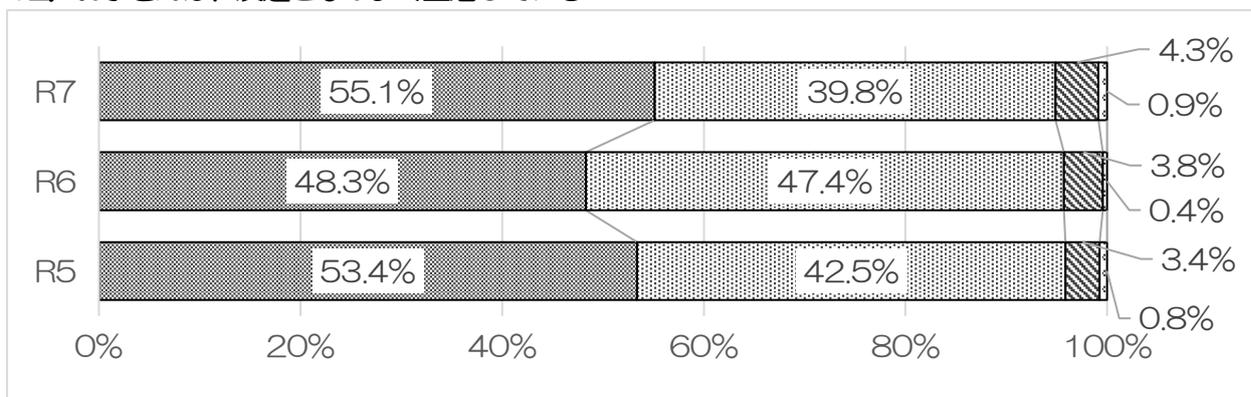
10. 学校は、日頃から子どもと触れ合い、教育相談などで子どもの話をよく聞き、いじめ・不登校などの予防や対応に取り組んでいる



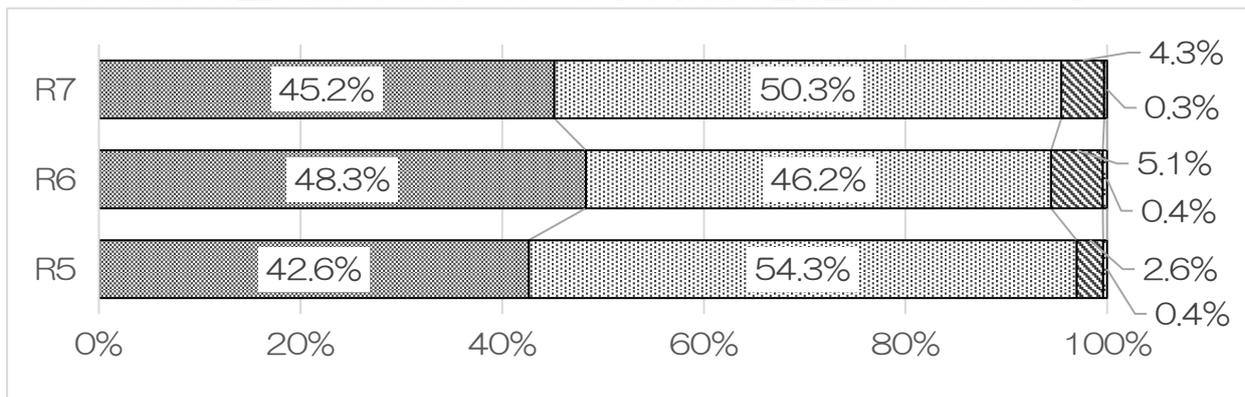
11. 学校は、子どもの心に響く道徳の授業をしている、また、自然体験等、活動の工夫をしている



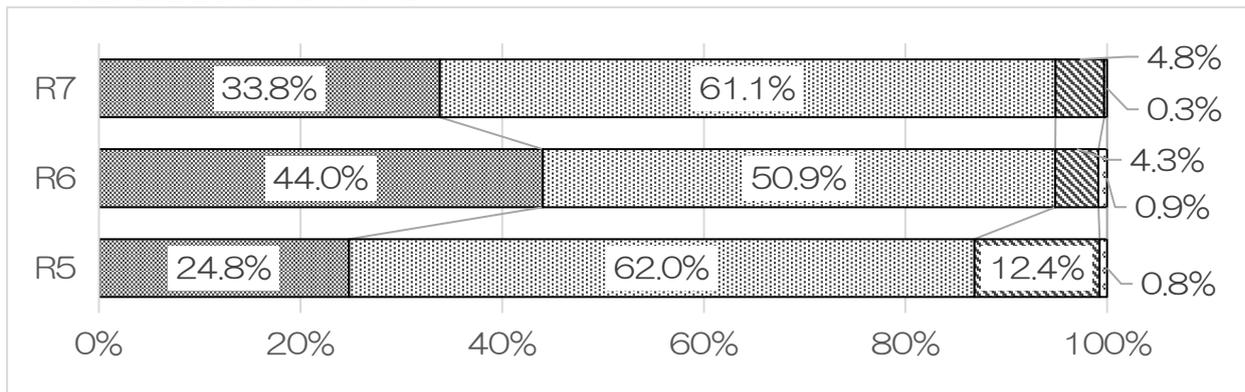
12. お子さんは、友達となかよく生活している



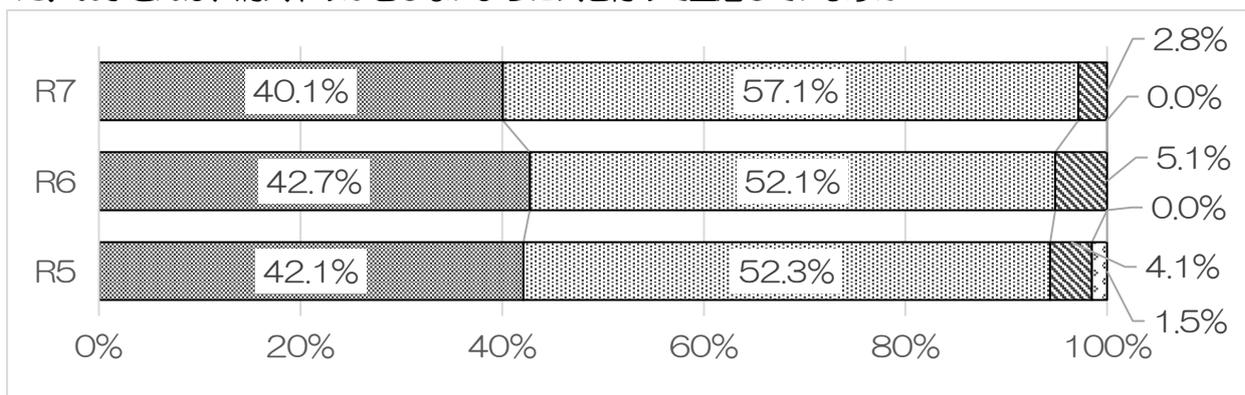
13. 学級活動、児童会活動、学校行事において、子どもたちが生き生きと取り組んでいる



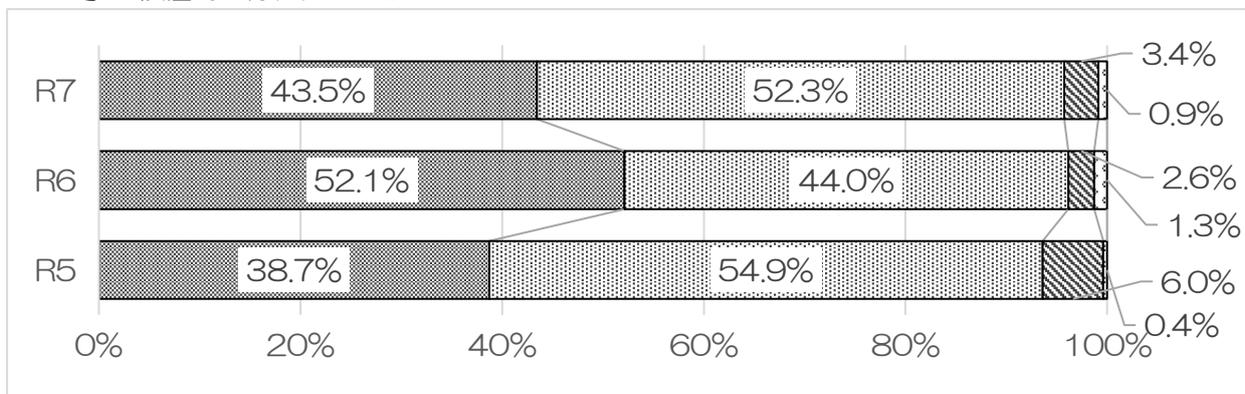
14. 学校では、運動を通じた体力づくり、保健学習、食に関する指導、性に関する指導、心(人間関係)に関する指導などがされている



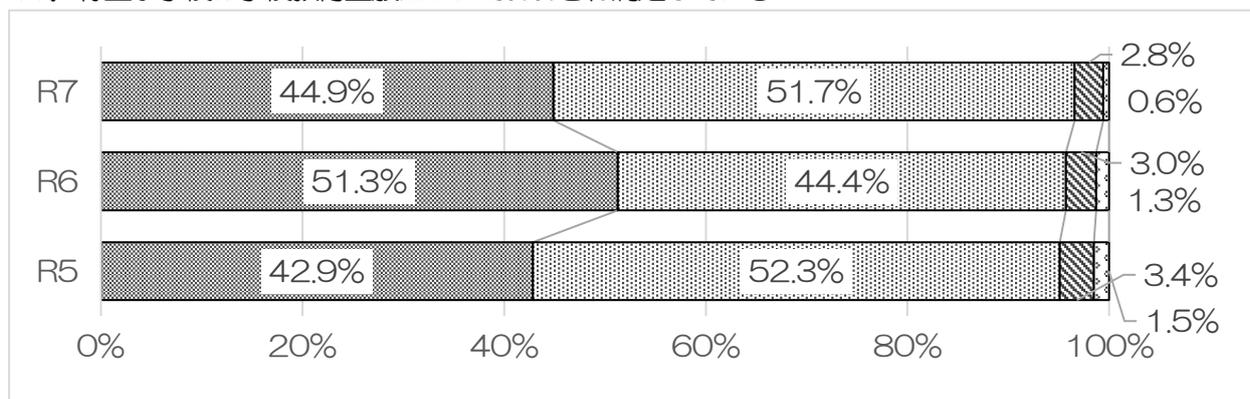
15. お子さんは、病気やけがをしないように気を付けて生活していますか



16. 学校では、火災、地震、不審者、登下校についての安全指導(登下校指導・避難訓練・引き渡し訓練等)が積極的に行われている



17. 緑丘小学校の学校教育全般についておおむね満足している



<保護者アンケートの結果>

多くの項目で「よくあてはまる」、「あてはまる」の回答が90%を超えている。特に3 [学校は、保護者参加型の活動や行事を計画している] については、1.7ポイントも増え、98.7%となった。今年度、好意的な回答が増加したのは、「学び合いのある授業」や「特別の教科 道徳」の実践が各学級で取り組まれ、充実してきたことや、みどりっこサポーターの皆様のご協力により、各教科での出前授業や校外学習、体験学習の充実によるものと考えられる。さらに、授業参観で実施した親子道徳や地域の方や外部の方を講師としてお招きした出前授業を多く取り入れたことが評価されたと考えられる。

また、10 [学校は、日頃から子どもと触れ合い、教育相談などで子どもの話をよく聞き、いじめ・不登校などの予防や対応に取り組んでいる] の評価も、わずかではあるが1.4ポイント増加した。教職員アンケートの結果と同様に教育相談の前後の情報交換の充実が継続的に行われ、いじめ等のトラブルの早期発見につながっていることから得られた評価と考えられる。15 [お子さんは、病気やけがをしないように気を付けて生活していますか] の評価も、2.3ポイント増加した。これは、児童、教職員アンケートの結果と同様であり、教職員も、子どもたちも、健康に留意し、なかよく学校生活を楽しむことができたことにより得られた評価と考えられる。

9 [お子さんは、挨拶、言葉遣い、身の回りの整頓などができるように意識している] の評価は、4.0ポイント減少した。これは、教職員アンケートの結果と同様であり、子どもが慣れ親しんで接することと、礼儀を身に付けることを両立する必要がある。今年度、力を入れた道徳教育を継続していくことで、道徳的価値を高め、子どもたちの行動にあらわれるように努力していく必要がある。昨年度よりも、減少しているが、5 [明るく楽しい学校生活] の項目では、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」が5.7%、17 [学校教育全般] の項目では、3.4%の子どもたちが学校生活に困り感、不安感をもっていると考えられる。今の取組を充実、継続しながら一人一人を大切にしている教育活動を進めていきたい。